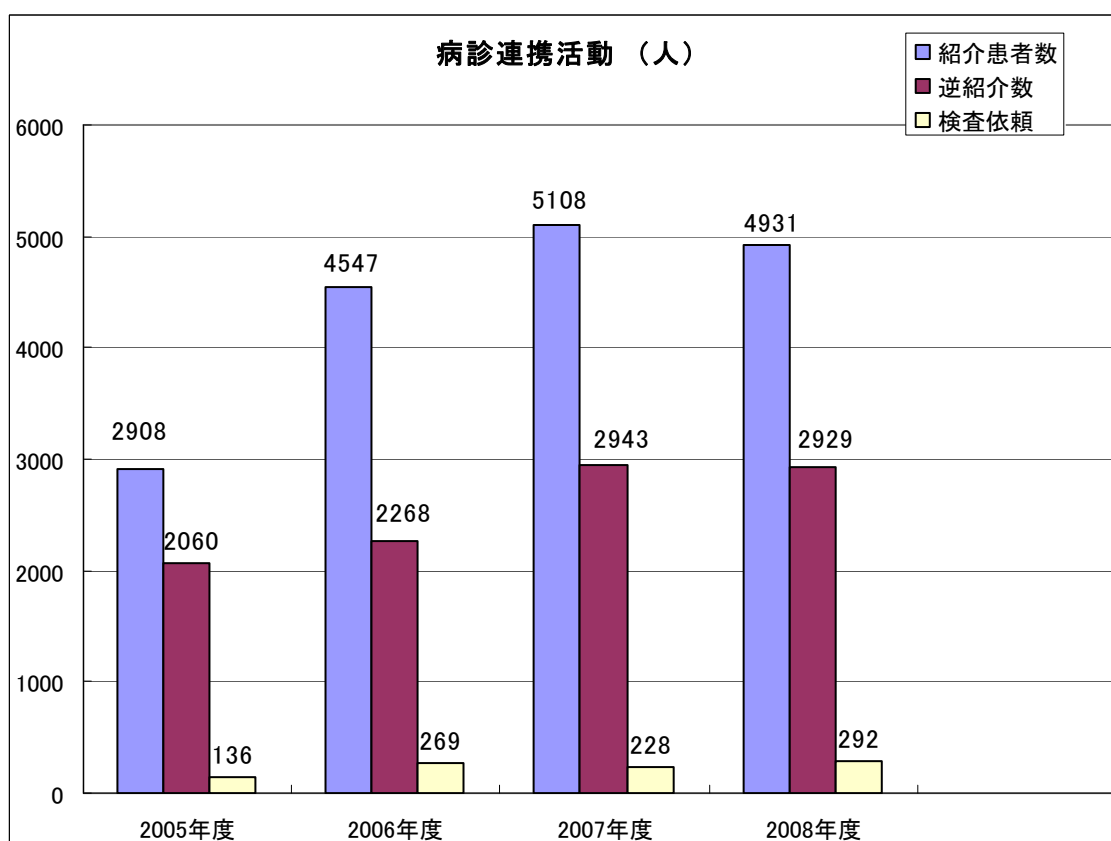


## 地域医療支援部

### 病診連携活動

当院はがん医療、結核医療の中核病院として、また三河地区唯一の県立病院として地域医療に貢献することを病院の基本方針としている。地域の医療機関と密接な連携をとり、満足していただける医療を提供するために、平成17年4月より地域医療支援部を新たに設置し広域病診連携業務を行っている。また平成18年3月からは紹介の際の待ち時間の短縮を図るため診療時間予約も行っている。

<http://www.pref.aichi.jp/aichi-hospital/byosin.htm>



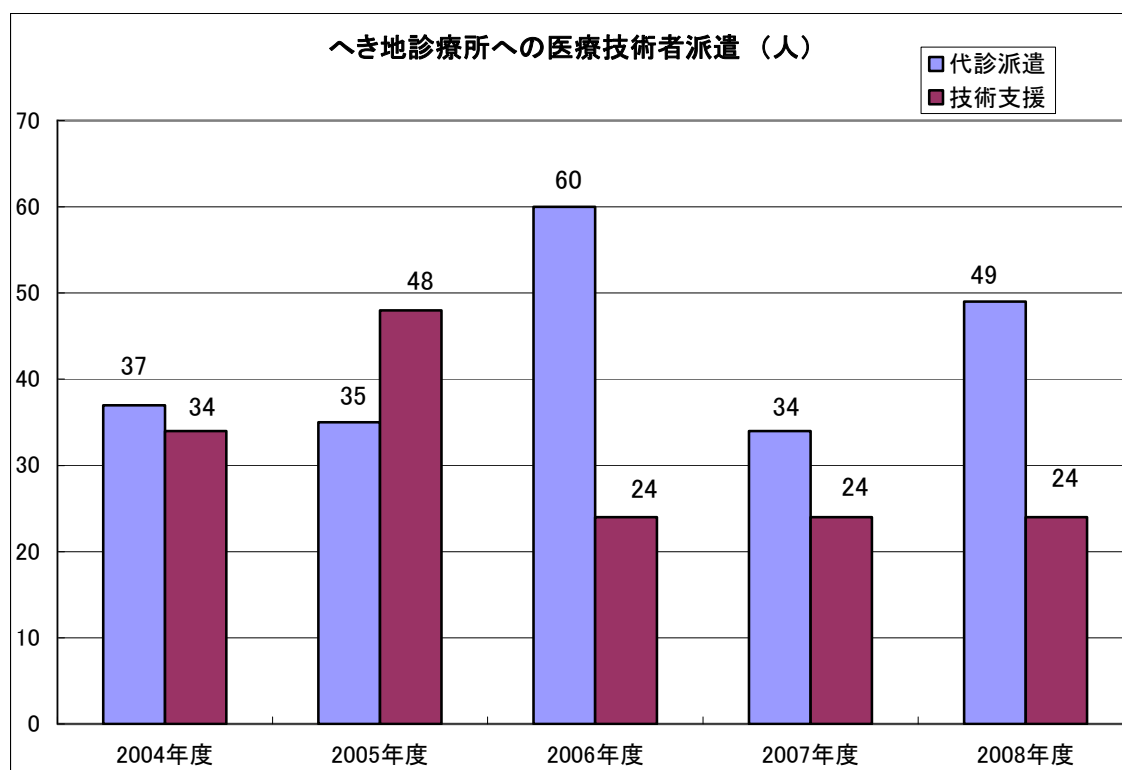
## へき地医療支援活動

当院は平成11年8月にへき地医療支援病院に指定されて以来、へき地診療所への代診医派遣、画像伝送装置等を用いた診療支援事業を実施している。平成14年に県のへき地医療支援事業の調整を行う「へき地医療支援機構」が設置され、当病院も「へき地医療拠点病院」の指定を受け、下記のへき地医療支援事業を実施している。

<http://www.pref.aichi.jp/aichi-hospital/hekichi/hekichi.htm>

## 1) へき地診療所への医療従事者派遣

へき地診療所の医師が不在となる場合の代診医派遣のほか、整形外科等の専門医やへき地診療所では確保が困難な理学療法士などの医療専門職による技術支援を行っている。



## 2) へき地医療支援システムによる診療支援

平成11年より静止画像伝送装置を用いて、へき地診療所・病院に対する診療支援を行ってきた。平成16年8月からは新しいシステムに更新され、静止画像伝送とテレビ会議システムを活用した勉強会を定期的開催している。

## 3) へき地医療臨床研修システムによる研修医の受け入れ

へき地医療を理解する医師を育成するため、へき地診療所（豊田市立乙ヶ林診療所、岡崎市額田北部診療所、岡崎市額田宮崎診療所、一色町佐久島診療所）と協力して地域医療研修プログラムを作成し、研修医の指導にあたっている。

臨床研修病院	17年	18年	19年	20年	21年
名古屋第一赤十字病院	8人	12人	10人	9人	8人
岡崎市民病院	5人	8人	6人	7人	6人
豊川市民病院	4人	5人	5人	4人	3人
愛知医科大学病院	—	4人	3人	3人	1人
名古屋大学医学部附属病院	—	—	1人	1人	3人
蒲郡市民病院	—	—	—	1人	1人
名古屋医療センター	—	—	—	—	2人
合計	17人	29人	25人	25人	24人

## 抱負

がん医療と結核医療の中核病院として、また地域医療へ貢献するため病診連携事業を円滑に運営できるよう努力する。

へき地医療支援も重要な役割の一つとして今後も積極的に推進していくとともに、研修指導にも力を注ぎ、将来へき地医療を担う医師の育成に取り組みたい。

